

平成 30 年 10 月 4 日

タレンツ・トーキョー実行委員会（東京フィルメックス）

映画分野の人材育成事業「タレンツ・トーキョー2018」講師・参加者決定、 修了生向け「ネクスト・マスターズ・サポート・プログラム」選抜企画発表

映画分野における人材育成事業「タレンツ・トーキョー」は、アジアの若手の映画監督やプロデューサーに、世界で活躍していくためのノウハウや国際的なネットワークを構築する機会を提供するものです。世界的に実績のある「ベルリン国際映画祭」と提携して実施しています。

近年、世界の主要な映画祭において、修了生たちの活躍がめざましい本プロジェクト。今年は11月19日（月）～24日（土）までの6日間の日程で行います。

このたび応募選考の結果、15名の参加者（タレンツ）が決定しました。メイン講師には、ヴィムクティ・ジャヤスンドラ氏、レイモンド・パッターウィラクーン氏、ジュリエット・シュラメック氏の3名を迎えます。

また、修了生対象のプログラム「ネクスト・マスターズ・サポート・プログラム」では、タレンツ・トーキョー修了生を対象に、a) 企画開発ファンド：製作前の企画を実現するための支援（上限100万円）、b) プロモーションファンド：完成間近の作品を後押しする支援（上限50万円）の2種類の資金援助を実施しています。

詳細については、別紙1～3をご参照ください。

- 1 「タレンツ・トーキョー2018」メイン講師（別紙1のとおり）
- 2 「タレンツ・トーキョー2018」参加者（タレンツ）（別紙2のとおり）
- 3 ネクスト・マスターズ・サポート・プログラム選抜企画（別紙3のとおり）

<開催概要>

名称：Talents Tokyo 2018／タレンツ・トーキョー 2018（略称：タレンツ・トーキョー）

会期：平成30（2018）年11月19日（月）～11月24日（土）

会場：有楽町朝日ホール他

公式サイト：<http://talents-tokyo.jp>

主催：東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、

国際交流基金アジアセンター、タレンツ・トーキョー実行委員会（東京フィルメックス）

協力：ゲーテ・インスティトゥート 東京ドイツ文化センター

提携：ベルリナーレ・タレンツ（ベルリン国際映画祭）

事業に関する問合せ先：実行委員会事務局（kino international 内） TEL: 03-6459-2684

（*本事業は、平成22年度は「ネクスト・マスターズ・トーキョー」、翌23年度から25年度は「タレント・キャンパス・トーキョー」、26年度より「タレンツ・トーキョー」の名称で実施しています。）



別紙1「タレント・トーキョー 2018」 メイン講師



(左から、ヴィムクティ・ジャヤスングラ氏、レイモンド・パッターウィラクーン氏、ジュリエット・シュラメック氏、フロリアン・ウェグホン氏)

ヴィムクティ・ジャヤスングラ (監督)

1977年スリランカ生まれ。フランスのフレノワ国立現代アートスタジオで学ぶ。初の長編映画『The Forsaken Land』(2005)がカンヌ国際映画祭ある視点部門に選ばれ、カメラ・ドール(新人監督賞)を受賞。長編映画2作目『二つの世界の間で』(2009)はヴェネチア映画祭コンペティションで上映され、『Mushroom』(2011)はカンヌ国際映画祭監督週間に選出された。『白い光の闇』(2015)はロカルノ国際映画祭のインターナショナルコンペティションで公開された。2016年に釜山アジアフィルムアカデミーでアドバイザーを務めた。また、スリランカのコロombo映画TVアカデミーの学部長を務めている。

レイモンド・パッターウィラクーン(プロデューサー)

9ヶ月におよぶ脚本集中プログラム東南アジアフィクションフィルムラボ SEAFIC のエグゼクティブディレクター。

『見習い』(ブー・ユンファン監督/カンヌ国際映画祭ある視点部門 2016)、『サムイの歌』(ペンエーグ・ラッタナルアーン監督/ヴェネチア国際映画祭ヴェニスデイズ部門オープニング 2017)、『HEADSHOT』(ペンエーグ・ラッタナルアーン監督/ベルリン国際映画祭パノラマ部門 2011)など多くの国際共同制作を手がけている。また、トロント国際映画祭、トロントリアルアジア国際映画祭のインターナショナルプログラマー、香港国際映画祭とカンヌ国際映画祭批評家週間のプログラムコンサルタントにも従事していた。

かつては、インターナショナルセールスエージェントのフォルテシモフィルムズのマーケティングと特別プロジェクトのディレクターを務め、香港アジアフィルムファイナンスフォーラム(HAF)の委員やアジアフィルムアワードのアドバイザーメンバーも担った。ベルリン国際映画祭やシアトル国際映画祭をはじめとする多くの国際映画祭の審査員を務めた経験もある。

ジュリエット・シュラメック (MK2 マネージングディレクター)

パリで生まれ育つ。パリ第二大学大学院とパリ政治学院で法律とビジネスを学びながらでカルチエ・ラタンにある洗練された映画館の一つで働く。その後、フランスの映画学校のラ・フェミスにて映画配給を専攻しレ・フィルム・デュ・ローザンジュ社で働き始める。(エリック・ロメールとバーベット・シュローダーによって設立された)インターナショナルセールス部門で働く前は、同社で劇場配給に従事していた。

2007年にMK2の一員になる。ヨーロッパへの映画セールスを担当したのち、海外配給、セールス、買付けのマネージングディレクターに就任する。彼女が担当した監督は、チャールズ・チャップリン、デヴィッド・リンチ、フランソワ・トリュフォー、ロベール・ブレッソン、ガス・ヴァン・サント、グザビエ・ドランなどである。

買い付け及び共同制作の最新作はパヴェウ・ハヴリコフスキ監督『Cold War』(カンヌ国際映画祭最優秀監督賞)、ジャ・ジャンクー監督『Ash Is Purest White』(カンヌ国際映画祭コンペティション)、ジャック・ドゥミとアニエス・ヴァルダコレクションなど多くの国際的に著名な監督作品である。同時に若手監督に作品も手がけている。

また、今回のプログラムにはベルリン国際映画祭(ベルリナーレ・タレント)より、フロリアン・ウェグホルン氏(プログラム・マネージャー)も参加いたします。

別紙2「タレント・トーキョー2018」 参加者（タレント）

監督：

Zi GAO(中国)

Hao ZHOU(中国)

Jenny SUEN(香港)

神保 慶政(日本)

Abdul ZAINIDI(ブルネイ)

Donggyun HAN(韓国)

Xaisongkham INDUANGCHANTHY (ラオス)

Amanda EU(マレーシア)

Carlo Francisco MANATAD (フィリピン)

I-Hsuan SU(台湾)

Chia-Hsin LIU(台湾)

Sompot CHIDGASORNPONGSE(タイ)

Patiparn BOONTARIG (タイ)

プロデューサー：

今井太郎(日本)

Dan KOH (シンガポール)

*氏名 (国名/地域名)



*タレント名は国名のアルファベット順で表示しています。

*平成30年10月4日時点の情報であり、変更になる可能性があります。

別紙3 ネクスト・マスターズ・サポート・プログラム

選抜企画：

a) 企画開発ファンド

Zoljargal PUREVDASH (TT2017年修了、モンゴル) <*I wish I could HIBERNATE*>

Supatcha THIPSENA (TT2017年修了、タイ) <*DOI BOY*>

Pham Ngoc LAN (TT2017年修了、ベトナム) <*Cu Li Never Cries*>

Siew Hua YEO (TT2015年修了、シンガポール) <*Stranger Eyes*>

早川千絵 (TT2014年修了、日本) <*PLAN75*>

中村真夕 (TT2016年修了、日本) <*Wondering Taxi*>

Armi Rae CACANINDIN (TT2014年修了、フィリピン) <*The Empire*>

Gita FARA (TT2016年修了、インドネシア) <*The Sea Speaks His Name*>

b) インターナショナル・プロモーション・ファンド

Kavich NEANG (TT2016年修了、カンボジア) <*Last Night I Saw You Smiling*>

*氏名 (TT 修了年, 国名) <企画名>

*受賞者名は国名のアルファベット順で表示しています。

*平成30年10月4日時点の情報であり、変更になる可能性があります。